

# 留学体験レポート

国際学部 2年 長谷川月

## 1. はじめに

私は昨年8月から12月にかけて、アメリカのミズーリ州にあるセントラル・ミズーリ大学に約4か月の間留学に行きました。初めての海外留学ということから不安を感じながらも、期待に胸を膨らませ日本から旅立ちました。本レポートでは私が体験してきたアメリカでの生活、授業、課外活動について述べていきたいと思います。

## 2. アメリカでの生活

私たちの寮は基本二人部屋でしたが、お風呂やトイレは隣にある二人部屋につながっていたため、実質4人での生活でした。昨年度とは違い、日本人同士の共同生活でしたが、部屋を出ればミズーリ大学の学生と交流する機会がたくさんあります。食堂は寮につながっており、学生証があればいつでも食事をする事ができるビュッフェ形式でした。しかし日本食が一切置いていなかった為、両親からの仕送りや大学の無料シャトルバスで行くことのできる大型スーパーに出向き、何とか食事面では乗り切ることが出来ました。冬はマイナス10度近くなる事が多かったため、夏服よりも冬服を多めに持って行くことをお勧めします。



### 3. 授業について

大学に着いたと同時にクラス分けテストがあり、各クラスでリーディング、ライティング、発音、文法、アメリカ文化、日米関係論など基礎的な学習から、英語を用いた応用的かつ実践的な授業を受けました。特に私のクラスは他の国から来た留学生との討論の機会が多かった為、会話に追いついていくことに毎日必死でした。ですが、先生方はとてもフレンドリーで、分からない所があった際には生徒を一人一人じっくり見てくださいました。また、他国の学生とも切磋琢磨したことによって、英語に対するモチベーションを保つことができ、英語学習に思う存分力を入れる事ができました。

### 4. 課外活動について

本留学では大学近くのダウンタウン巡りを始め、ポーリング、メジャーリーグ観戦、美術館、映画、ハロウィンパーティ、感謝祭、カンザスシティでのショッピングなど、たくさんの課外活動を体験させていただきました。すべての課外活動が楽しくアメリカの文化に触れることが出来てとても良い思い出になりました。また、大学には大きなアメリカンフットボールのスタジアムがあった為、チームカラーである赤い服を着て応援に行くこともありました。

### 5. 終わりに

私にとってこの留学は自分自身を成長させると共に、現地の学生や他国の留学生との関わりを通して、語学力向上やアメリカならではの文化を英語という一つの言語を使い共有することができました。この機会を与えてくれた両親に感謝し、この経験が少しでも将来につながるよう語学学習を続け、留学から帰ってきてからの生活をより充実させていきたいと思います。